

あきた 市議会だより

No.156

平成26年
11月21日



9月定例会の概要	P 2～3
議案等に対する会派別の表決状況	P 4
一般質問	P 5～9
常任委員会等の主な質疑応答	P 10
議会からのお知らせ	P 10

第29回国民文化祭・あきた2014「はばたけ秋田っ子 小学校文化フェスティバル」で郷土芸能などの文化活動を発表しました。（秋田市文化会館で10月13日に開催）



はずむ!スポーツ都市
マスコットキャラクター
「スポまる」

これから寒くなりますが、芸術、
スポーツで心と体を温めましょう。



ホームページで
過去の議会だよりも
ご覧になれます

9月 定例会の概要

9月3日～10月14日

9月定例会では、秋田市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件などの条例案5件、予算案2件、単行案7件をすべて可決したほか、平成25年度秋田市一般会計、特別会計および公営企業の決算5件を認定しました。さらに、人事案2件に同意し、議員提案による意見書案4件を可決しました。

予算

制度改正関係事業

予防接種事業

水痘および成人用肺炎球菌の接種を促進するため、対象者のワクチン接種経費を全額または一部公費負担します。

水痘

〔助成対象〕

・生後12月から36月に至るまでの間にある方

（平成26年度に限り経過措置あり）

〔自己負担額〕

成人用肺炎球菌 なし

〔助成対象〕

・65歳の方（平成26年度から平成30年度まで経過措置あり）

・60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい有する方

〔自己負担額〕

課税世帯 3千500円
非課税世帯 2千500円
生活保護世帯 なし

1億1千39万6千円

ゆき総合対策関係事業

コミュニティセンター等

小型除雪機運搬経費

市民協働による除排雪の取り組みとして、町内会での除排雪作業に使用する軽トラックを配置します。

342万1千円

その他の事業

雄和地域統合小学校整備事業

雄和地域の4小学校を統合し、雄和中学校に併設して新たな小学校を建設します。

事業内容

・校舎および屋内体育館新増築、既存校舎改修、中庭整備

事業期間 26～27年度

総事業費

8億9千705万2千円



雄和中学校

災害対策本部

情報システム等整備経費

新庁舎に配置する災害対策本部室に新たな防災情報システムを構築するとともに、必要な室内設備等の整備を行います。

事業内容

・防災情報伝達および被災者生活再建支援等のシステム構築

・災害監視屋上カメラおよび映像表示装置等の整備

事業期間 26～28年度

総事業費 4億156万7千円

条例

秋田市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例を設定

児童福祉法の一部改正に伴い、放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定めるため設定しました。

施行期日 規則で定める日から



単行案

名勝旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯亭）庭園修復整備工事請負契約を締結する件

場所 旭川南町86番13ほか

契約金額

3億9千916万8千円

契約先 池田・菱明三菱・むつみ建設工事共同企業体

工期 29年2月10日まで



名勝旧秋田藩主佐竹氏別邸

人事

公平委員会委員

松橋彰雄氏（再任）

人権擁護委員

乳井康雄氏（新任）

平成25年度 決算

一般会計および特別会計決算

歳入決算額①	1,927億1,544万円
(前年度比)	(31億9,806万4千円減)
歳入執行率	96.2% (前年度96.5%)
歳出決算額②	1,898億3,643万8千円
(前年度比)	(31億6,054万円減)
歳出執行率	94.8% (前年度95.1%)
歳入歳出差引額③=①-②	28億7,900万2千円
26年度への繰越財源④	3億2,177万9千円
実質収支額⑤=③-④	25億5,722万3千円 (黒字)



予算決算委員会分科会の様子

公営企業決算

病院事業 (市立病院)

利用状況

入院延患者数12万6千587人
(前年度比5.4%減)
外来延患者数30万6千47人
(前年度比1.2%増)

財政状況

収入面では、受診抑制傾向が続く中、地域の医療機関との病診連携の強化による患者の確保や診療体制の充実を図ったものの、入院収益では前年度比2.5%減少し、外来収益については前年度比4.9%増加したことなどにより、総収入は前年度比0.4%の減少となりました。一方、支出面では、給与や経費の減少などにより、全体で前年度比2.1%減少し、損益では3億9千689万2千円の純利益が生じています。その結果、累積欠損金は14億7千167万1千円となっています。

水道事業

給水状況

給水世帯数13万3千141世帯
(前年度比819世帯増)
給水人口 31万6千189人

(前年度比1千194人減)

普及率 99・4%

財政状況

収入面では、経営の根幹をなす給水収益が、前年度と比較して1.6%の減となったことなどにより、総収益では前年度比1.3%の減となりました。一方、総費用は配水費や受託工事費の増などにより、前年度比5.7%の増となりました。この結果、4億4千354万5千円の純利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。

下水道事業

普及状況

処理区域内面積 5千703ha
(前年度比23ha増)
処理区域内人口29万2千100人
(前年度比257人増)
普及率 91・4%

財政状況

収入面では、経営の根幹をなす下水道使用料が、前年度と比較して0.3%の減となったほか、他会計補助金などの減により、総収益では前年度比1.4%の減となりました。一方、支出面では、管渠費や流域下水道費など

の増により、4億2千464万1千円の純利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。



上下水道局川尻庁舎

農業集落排水事業

普及状況

処理区域内面積 731ha
(前年度比2ha増)
処理区域内人口1万2千599人
(前年度比200人減)
普及率 4.0%

財政状況

収入面では、使用料や他会計補助金などの増加により、総収益では前年度比7.1%の増となりました。一方、支出面では、業務費などの増があったものの、3千105万4千円の純利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。

議案、請願・陳情に対する会派別の表決状況

❖ 9月定例会の結果

()内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件名	秋水会 (12)	市民ク (5)	希望 (5)	公明党 (4)	共産党 (4)	フォ 21 (3)	社・市 (2)	護・わ (1)	市民み (1)	温 修 (1)	議 結	決 果
市 長 提 出												
◆ 秋田市河辺戸島ふるさとセンター条例を廃止する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 秋田市手数料条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
◆ 秋田市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件												
◆ 秋田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する件												
◆ 秋田市営住宅条例等の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
◆ 建物を出資する件												
◆ 地方独立行政法人市立秋田総合病院定款の一部を変更する件												
◆ 市道路線を認定する件												
◆ 平成25年度秋田市水道事業会計未処分利益剰余金を処分する件												
◆ 平成25年度秋田市下水道事業会計未処分利益剰余金を処分する件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
◆ 平成25年度秋田市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金を処分する件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
◆ 平成26年度秋田市一般会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 平成25年度秋田市病院事業会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
◆ 平成25年度秋田市水道事業会計決算認定の件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
◆ 平成25年度秋田市下水道事業会計決算認定の件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
◆ 平成25年度秋田市農業集落排水事業会計決算認定の件	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○		
◆ 平成25年度秋田市一般会計および特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○		
◆ 秋田市公平委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
◆ 人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 名勝旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯亭）庭園修復整備工事請負契約を締結する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
◆ 平成26年度秋田市一般会計補正予算（第3号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議員提出												
◆ 危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策の強化に関する意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
◆ 原発事故子ども・被災者支援法に基づく生活支援等施策の早期実施と拡充に関する意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◆ 消費税率10%への引き上げ中止に関する意見書提出の件	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×		
◆ 過剰米の緊急処理に関する意見書提出の件	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
請願												
◆ 農業改革の中止等に関する意見書の提出について	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×		不採択
◆ 過剰米の緊急処理に関する意見書の提出について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		採択
◆ 泉・外旭川新駅（仮称）の必要性に関する再調査の実施について	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×		不採択
◆ 災害後方支援活動に係る条例の設定に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×		不採択
◆ 消費税率10%への引き上げ中止に関する意見書の提出について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×		
陳情												
◆ 原発事故子ども・被災者支援法に基づく生活支援等施策の早期実施と拡充に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
◆ ペット霊園建設計画の撤回等について（一部）3項												
◆ 消費税増税等の中止に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×		
◆ 集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回等に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×		
◆ 特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案に厳しく対峙し憲法政策を駆使した健全な町づくりによる人口減少対策に関する意見書の提出について	×	○	○ ² × ³	×	○	×	○	○	○	×		不採択
◆ 原発再稼働の反対に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×		
◆ 安倍内閣による新たな憲法解釈に反対する決議について	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×		
◆ 岩見三内地区における診療所の存続について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
◆ 天徳寺地下道における歩道の設置について	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×		
◆ 平和公園内のN墓域と駐車場をつなぐスロープの整備について	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×		不採択

※会派内で賛否が分かれた場合、賛成（○）と反対（×）の人数を数字で掲載しています。

★略記している会派の名称～「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団、「フォ21」はフォーラム21、「社・市」は社会・市民連合、「護・わ」は護憲・わんぱくの会、「市民み」は市民のみかた

〔継続審査となった案件〕 陳情 ◆ペット霊園建設計画の撤回等について（一部）1項、2項

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。

- 危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策の強化に関する意見書
- 原発事故子ども・被災者支援法に基づく生活支援等施策の早期実施と拡充に関する意見書
- 消費税率10%への引き上げ中止に関する意見書
- 過剰米の緊急処理に関する意見書

※各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

一般質問

市政全般にわたり、10人の議員が質問しました。

秋水会
川口 雅丈

◇人口減少対策等◇児童生徒の
人間力の向上◇今後の中心市街
地の活性化◇防災◇除排雪の検
証等◇スタジアムの新設

同居・近居の支援

問 介護や子育ての共助の
推進、家族の絆づくりの強
化、地域コミュニティの
活力向上を図るため、多世
代同居や近居を支援するべ
きではありませんか。

答 近年、育児に関して親
からの協力が得られること
や、親が自分の目の届く場
所に住んでいる安心感など
から、親と子、孫の三世代
同居や親の近くに住む近居
などが見直されつつありま
す。こうした動きは、家族
の絆を深め、育児や介護な
どで家族相互に助け合うと
いうことはもとより、希薄
化する地域コミュニティ
再生につながることも期待
されています。多世代で同
居するための住宅取得やリ
フォームに対する補助など
を行っている自治体も見受
けられることから、地元を
離れた出身者のふるさと回

帰なども視野に入れ、今後、
先進事例等を調査・研究し
ていきます。

スタジアムの新設

問 ブラウブリッツ秋田の
J2昇格を見据え、県市連
携によりスタジアム新設の
検討を始めるべきではあり
ませんか。

答 ブラウブリッツ秋田
が、J2に昇格する条件の
一つであるJリーグ基準を
満たすスタジアムは、全県
的な地域の活性化に結び付
くメインスタジアムにもな
ることから、これまでも県
と連携し検討を進めていま
すが、J2昇格のためには、
チーム自らがクリアすべき
条件である成績向上や観客
動員数の増加などがあり、
今後もしこうした状況を注視
します。



秋田市八橋運動公園陸上競技場

希望
齋藤 勝

◇市長の政治姿勢◇外旭川地区
におけるイオンタウン株式会社
による開発構想等◇泉・外旭川
新駅（仮称）◇教育行政◇空き
家バンク◇ペレットストーブの
普及啓発

泉・外旭川新駅（仮称）

問 新駅の設置に関して市
民理解が十分得られるよう
説明を尽くしていく考えは
ないのですか。また、市長
公約どおり、新駅の設置に
向けて進めていく方針に変
わりはないのですか。

答 新駅設置は、誰もが利
用しやすい公共交通の実現
と、交通弱者を含めた市民
の移動手段の確保など、将
来にわたり多様な公共交通
を維持していくための有効
な手段の一つと考えていま
す。なお、新駅の整備に
際しては、市民の理解を得
ることが重要であることか
ら、さまざまな機会を通
じ情報提供や説明を行うな
ど、市民理解の醸成に努め
ていきます。

大型商業施設

問 イオンタウン株式会社
が外旭川地区に提示する開
発構想の実現は、大企業の
誘致にも匹敵すると思いま
すが、同構想をどのように
認識しているのですか。ま
た、具体的な構想の提示が
あった場合、受け入れる考
えはあるのですか。

答 同開発構想の情報はあ
りますが、具体的な内容が
明らかになっておらず、現
段階で見解を示す状況では
ないと考えています。なお、
具体的な事業内容が提示さ
れた場合には、本市が進め
るコンパクトな市街地形成
の方針との整合性や中心市
街地への影響、さらには現
行の法規制や雇用を含めた
地域経済への影響など、さ
まざまな観点から検証を行
います。



■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル122ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

11月定例会の本会議は、11月26日、12月4日、5日、8日、19日に中継予定です。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

市民クラブ

見上 万里子

◇市長の政治姿勢◇地方公会計制度の導入◇国旗及び市旗等の掲揚◇人事行政◇人に寄り添う活動◇民間企業における女性管理職の登用◇竿燈まつり◇除排雪◇防災訓練◇食育◇選挙◇上下水道事業◇国民健康保険被保険者証

ジャイアントパンダ

問 大森山動物園へのジャイアントパンダ誘致について、中長期的な視点での情報収集は継続しているのですか。

答 中国蘭州市との友好都市提携30周年を契機とした友好交流の証として誘致を検討したものであり、引き続き中長期的な展望のもと、情報収集に当たっています。



大森山動物園

人に寄り添う活動

問 自殺対策、高齢者に優しい都市づくりおよび保護観察対象者の社会復帰支援などを総称して「日本一、人に寄り添う都市」とし、展開する考えはありませんか。

答 少子高齢化や生活課題の複雑化が進む中、県都『あきた』成長プランの基本理念「ともにつくりともに生きる人・まち・くらし」のもと、民学官の連携によるネットワークを形成しながら取り組んでいます。具体的には、自殺対策ネットワーク会議の開催や自殺対策条例を制定しています。また、超高齢社会到来をプラスにとらえ、エイジフレンドリーシティの推進に努めているほか、保護観察対象者の社会復帰支援として、秋田地区保護司会との就労支援協定を締結しています。今後も、民学官の多様な団体間の情報交換など一層充実させつつ、オール秋田の先駆的取組を広くアピールし、家族と地域が支え合うまちを目指して取り組みを進めていきます。

日本共産党秋田市議会議員団

佐藤 純子

◇市長の政治姿勢◇市内の小規模企業への支援等◇子育て支援◇保護課職員の増員◇図書環境◇高齢者にやさしいまちづくり

子ども・子育て支援

問 第2子以降の保育所の保育料は無料とし、学童保育の保育料については、市独自に負担軽減策を講じるべきではないですか。

答 本市における保育所の保育料は、第2子は半額、第3子は無料とし、幼稚園の保育料についても同様に軽減しており、これに加え、独自に保育所保育料の階層区分を細分化し、本市の自主財源により子育て世代の経済的負担へ配慮しています。また、本市が委託している34の放課後児童クラブについては、利用者との契約により行われていますが、その保育料は、利用者ニーズに即した特色あるサービスに応じて設定されています。クラブ運営は、市からの委託料と利用者の保育料で賄われていますが、その運営が円滑に行わ



屋根の雪下ろし作業

れるよう、今年度、委託料の増額を図ったところであります。第2子以降の無料化について、また、保育料の軽減については財政負担が伴うなどの課題があり、現在のところ考えていません。

高齢者等への支援

問 道路豪雪対策本部の設置にかかわらず、屋根の雪下ろしへの支援を行うべきではないですか。

答 高齢者および障がい者住宅の屋根の雪下ろし費用の助成については、降雪・積雪の状況が地域によって大きく異なるため、今冬から対策本部が設置されていない場合においても必要に応じて支援ができるよう、制度の見直しを行うことにしています。

■請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話（８６６）２２３３

一般質問

市政全般にわたり、10人の議員が質問しました。

公明党秋田市議会
石塚秀博

◇土砂災害への危機管理◇人口減少社会における地域活性化◇市有施設の維持管理◇東北六魂祭の秋田開催

土砂災害への危機管理

問 土砂災害警戒区域または土砂災害特別警戒区域に指定されるべき危険箇所であるにもかかわらず未指定となっている地域はどのくらいありますか。また、どのような理由で指定されていないのですか。

答 本市における土砂災害危険箇所1千11カ所のうち、今年度までに155カ所の現地調査を完了し、指定済みの15カ所を除く140カ所について、両警戒区域に指定可能となる見込みであり、早期に指定されるべきものと認識しています。両警戒区域に指定されていない理由について、県からは現地調査に多額の経費等を要することなどにより進んでいないと伺っています。今後、住家がある区域を優先して指定するよう県に対し働き掛けていきます。



土砂災害警戒区域（※1）

市有施設の維持管理

問 市有施設の保有状況の整理と総量削減を検討するとともに、維持修繕や延命措置などに充てるための新たな基金を創設すべきと考えますがどうですか。

答 現有の市有建築物をこのまま維持保全し続けようとする場合、今後の本市の税収減等に照らし、将来、確保が見込まれる予算の約1・36倍必要であると試算され、また、将来の財政制約の範囲内において、保全管理するとした場合、現有施設の4分の1程度の総量削減が必要と見込まれています。施設の統廃合や複合化等について検討し、将来の維持修繕等の財政需要に備えるため、次期行政改革大綱において新たな基金の設置を検討しています。

フォーラム21
伊藤巧一

◇秋田市公設地方卸売市場◇外旭川地区の大型複合商業施設構想等◇中国南寧市との貿易◇教育問題◇油谷コレクション◇エリアなかいち

御所野学院

問 御所野学院高等学校の大幅な定員割れについてどのように考えていますか。また、女子生徒に比べ男子生徒の少ないことをどのようにとらえていますか。

答 中学卒業時の進路変更により、高校の生徒数が定員に満たない状況にあり、生徒や保護者が、中高一貫校で6年間学ぶことのよさを実感できるように取り組みの充実が必要であると考えています。そのため、平成23年度開催の有識者会議による提言をもとに、英語科および数学科の先取学習、国際教養大と連携した英語学習などの中高一貫カリキュラムの充実や、入学者選抜の見直しなどの改革に取り組んでいます。また、生徒の男女比については、全国的に公立中高一貫校に



御所野学院

おける女子生徒の割合は高い傾向にあり、女子生徒の方が、中高一貫校教育に対する興味関心が高いのではないかと考えています。

エリアなかいち

問 エリアなかいちのリニューアルに関して、本市はどのように関わっているのですか。また、財政的支援等をしているのですか。

答 このたびのリニューアル構想については、秋田まちづくり株式会社主導のもと、業務委託契約をしている、株式会社あきた食彩プロデュースとともに、テナント交渉を進めてきたものです。また、本市として財政的な支援等はしていません。

※1 土砂災害警戒区域…土砂災害から国民の生命及び身体を保護するため、土砂災害防止法が制定され、同法のなかで土砂災害が発生するおそれがある土地の区域を明らかにすることとしています。秋田市のホームページから、秋田市内の土砂災害警戒区域等をご覧いただけます。
<http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ds/dosyakeikai.htm>

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

社会・市民連合
工藤新 一

◇地方独立行政法人市立秋田総合病院
◇公立大学法人秋田公立美術大学
◇泉・外旭川新駅（仮称）
◇木質ベレット
◇ペット霊園
◇千秋公園のバス
◇秋田市総合防災訓練
◇小学校における集団フット洗口事業

市立秋田総合病院

問 市立秋田総合病院が、将来にわたり総合的かつ高度な医療を提供する地域の中核的な医療機関として必要な医療環境について、設置者としてどうあるべきと考えていますか。

答 結核・精神・救急等の政策的な医療や、がん診療等の高度・専門医療を提供する地域の中核的な医療機関として、その役割を担っていくために、人材の確保と育成、病診連携や市民への情報提供等による地域医療への貢献などのソフト面のみならず、高度化する医療機器の整備、医療従事者が効率的で安全に医療を提供するための施設整備等、医療環境の向上に努めていくべきと考えています。



市立秋田総合病院

ペット霊園

問 御所野地区のペット霊園建設計画について、地域住民に誠意ある説明がないまま建設工事を強行している状況をどうとらえていますか。

答 本市では、地域の生活環境に配慮し、住民との良好な関係を保つことが特に重要であると考えており、住民に対し、計画段階で十分な説明を行い、理解を得るよう助言してきましたが、住民の理解を得ないまま建設工事を進めたことは誠に残念です。本市では、再度事業者に対し、地域住民へは丁寧に対応するよう求めたところであり、今後、事業者の誠意ある対応のもと、解決に向けた話し合いが行われることを期待します。

温
小原 譲

◇本会議及び市民への説明
◇京都『あきた』成長プランにおける推進計画
◇人事管理
◇国及び県への要望等
◇審議会等
◇政策法務
◇公共施設
◇新庁舎における分煙
◇地域の諸課題

市民憲章

問 職員研修や朝礼等の機会に市民憲章を唱和し、公務員としてのモラルや社会人としての意識の向上を図るべきではありませんか。

答 市民憲章は、誰もが共感できる、平易でわかりやすい文体で構成された、本市の「明るく豊かなまちをつくる」道しるべであるとともに、全市民にとっての心のよりどころになるものと認識しています。このことから、市民憲章の根底に流れる精神が、市職員に求められる資質に相通ずる面があるものと考え、執務室に市民憲章を掲示し浸透を図るとともに、職員研修の企画・実施に当たっては、市民憲章の理念を念頭に置くなどし、職員のモラルと意識の向上に努めます。



秋田市民憲章

市民への説明

問 本会議で検討事項と答弁したものについて、早期に措置状況を報告するべきではありませんか。

答 本会議答弁において検討事項としたものについては、複雑多様化する市民ニーズはもとより、国・県の動向や他都市の状況、予算措置の必要性など、さまざまな観点から状況を把握し、それらを整理した上での判断が求められるものです。このうち、その可否が決定した事項については、これまでも機会をとらえて議会に対し報告をしてきましたが、今後とも、市民に對しての説明責任を負うことを十分に自覚し、適宜適切に対応していきます。

議会の動き

8月20日 議会運営委員会
22日 厚生委員会（閉会中）
28日 教育産業委員会管内視察
9月3日 9月定例会
（10月14日まで）

10月14日 編集委員会
23日 議会運営委員会行政視察
（10月24日まで）
29日 編集委員会

11月5日 編集委員会
12日 議会運営委員会
各派会長会議

一般質問

市政全般にわたり、10人の議員が質問しました。

秋水会
佐藤 宏悦

◇人口減少対策等◇公契約◇農業の多面的機能支払交付金◇外旭川地区の大型複合商業施設構想◇エリアなかいち◇コンパクトシティ◇市立図書館◇トイレの水洗化に対する助成制度

コンパクトシティ

問 行政サービスを全市民が平等に受けるためには、コンパクトシティの考え方は地域格差が生じ、不平等と考えますがどうですか。

答 本市では、人口減少などにより市街地の低密度化が進み、道路や下水道等の維持・管理にかかる都市経営コストの増加が見込まれ、行政サービスの低下が危惧されています。このことから、第6次秋田市総合都市計画では、都心・中心市街地と6つの地域中心を核とする多核集約型の都市構造を目指しており、地域中心に都市機能を集積し、住民がそこにアクセスしやすい環境を整えることで均一の行政サービスを提供できるものと考えています。

多面的機能支払交付金

問 農業の多面的機能支払交付金(※2)について検討した組織が、申請に至らなかった理由は何か。また、本市の農地面積に対する申請割合などの取組状況はどうですか。

答 申請に至らなかった主な理由は、地域をまとめる人材不足と、交付金の活用条件である農地保全等の共同活動を5年間継続することについて合意形成できなかったことなどがあげられます。現在の取組状況は、本市の農地面積の約69%に当たる5千660ヘクタールについて申請の意向を受けていますが、このうち8月末時点で27組織1千882ヘクタールについて、県の地域協議会へ申請済みであり、残る活動組織も、今後、申請書類が整い次第、順次申請します。



田園風景

秋水会
今川 雄策

◇市長の政治姿勢◇退職自衛官の採用◇子ども・子育て支援新制度◇秋田都市計画道路事業◇教育行政◇八橋運動公園及び市立体育館の駐車場

秋田都市計画道路事業

問 「泉外旭川線」の事業の進捗状況と今後の予定についてはどうですか。

答 現在事業中の区間は、泉地区および外旭川地区を連絡する延長600mの4車線・両側歩道の道路であり、平成20年度から27年度までの期間で事業認可を得て、用地買収と建物移転補償を進め、25年度末で用地買収の約85%を完了しています。現在、奥羽本線の横断部について、JR東日本と協議を行っており、施工場所の土質状況や列車の安全運行の確保などを検討した結果、工事期間が当初計画より長期となることから、来年度に事業認可の変更手続きを行うなど、今後も市街地の渋滞緩和と歩車道分離による道路利用者の安全性の向上を図るため、計画

的な道路整備を進めていきます。



「泉外旭川線」整備予定地

教育行政

問 教職員の人事権の移譲に対する市長の認識はどうですか。

答 教育に関するニーズが多様化し、地方教育行政の改革が求められる中、公立小中学校の教職員人事権を県から市町村に移譲することは、地域の実情に応じた特色のある教育の実践や地域の課題に主体的に取り組む教職員の確保につながるものと認識しています。本市としては、今後の国の動向を見極めながら、質の高い学校教育の実現に向け、適切に対応していきたいと考えています。

※2 多面的機能支払交付金…農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援と、地域資源（農地、水路、農道等）の適切な保全管理を推進するための交付金。

各常任委員会・分科会での主な質疑応答です。

平成26年9月定例会において、予算案および決算は予算決算委員会に付託され、議案説明を受けた後、各分科会（総務、厚生、教育産業、建設）を開催し、質疑等を行いました。

総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、公平委員会等の所管事項

委員 平成25年度一般会計の決算から本市の財政状況をどのようにとらえていますか。

企画財政部

歳入では、市税や寄付金が増加した一方で、中通一丁目地区市街地再開発事業などが終了したことにより市債が減少したほか、地方交付税や繰入金などが減少しています。また、歳出では、子ども福祉医療基金の創設などで積立金が増加した一方で、再開発事業が終了したことなどにより投資的経費が減少しています。このような状況から、歳入は前年度比4.2%の減、歳出は前年度比4.4%の減となっており、実質収支は、前年度をやや上回る約14億円の黒字となりました。また、経常収支比率および公債費関係の指標も改善されていることから、一定の健全性を確保できたものと考えています。

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 各種がん検診の受診率はどうですか。また、今後、どのようにして受診率を高めていくのですか。

保健所

受診率では、大腸がん検診が17・6%で最も高く、胃がん検診が5.3%と最も低くなっています。がん検診の啓発については、これまで健診ガイドの全戸配布や市内819事業所へのリーフレットの配布のほか、マスコミを通じてPRするなど、さまざまな手法で周知をしてきました。今後は、広報あきた等によるがん検診の受診によって早期発見につながった方の話を掲載するなど、身近な話題を通じて受診の必要性を感じてもらえるよう努めています。



秋田市議会からのお知らせ

■議員の年賀状等あいさつ状は法律により禁止されています

議員は、公職選挙法により以下の行為が禁止されています。

○年賀状等のあいさつ状

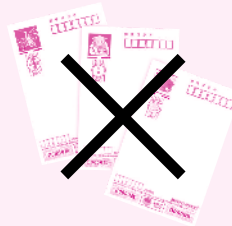
議員は選挙区内の人に対して、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等のあいさつ状を出すことが禁じられています。

○あいさつ目的の有料広告

議員や後援会が、選挙区内の人に対して、新聞・テレビ・ラジオ等により、あいさつを目的とした有料広告を出すと処罰されます。

○政治家に対する寄附の勧誘・要求

選挙区内の有権者は、政治家に対し、お金や物を要求することは禁止されています。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。



皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

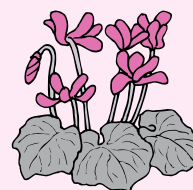
11月定例会のお知らせ

■日程

11月26日	本会議
12月4日～8日	本会議「一般質問」 (土日除く)
9日	常任委員会
10日～12日	常任委員会・分科会
17日	常任委員会
19日	本会議

■一般質問予定者

伊藤一榮、岩谷政良、齊藤善悦（秋水会）
渡辺良雄（市民クラブ）
小松 健（希望）
松田豊臣（公明党）
佐藤広久（共産党）
長澤孝政（社会・市民連合）
佐藤哲治（市民のみかた）



※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。
日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。